



2021年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 2021年3月期 第3四半期決算レビュー
- 2021年3月期 第3四半期活動実績
- 2021年3月期 通期業績見通し



2021年3月期 第3四半期決算レビュー



創業来21期連続となる過去最高売上高に向けて推移

第4次産業革命の中心的企業になるべく過去3カ年においてAI・IoT・Robotics分野に積極的な投資を行ってまいりました。当期は計画通り、利益回収を行う期と位置付けております

(単位：百万円、%表示は、対前期増減率)

	2020年3月期 第3四半期 連結実績	2021年3月期 第3四半期 連結実績	2021年3月期 通期連結業績予想 (修正前)	2021年3月期 通期連結業績予想 (修正後)
売上高	4,502	4,802 6.7%	7,407 ~8,080 10.1~ 20.1%	7,407 ~7,700 10.1~ 14.4%
営業利益	47	810 -	712 ~1,526 177.4~ 493.9%	1,800 ~2,100 600.4~ 717.2%
経常利益	50	1,023 -	802 ~1,616 209.4~ 522.9%	2,000 ~2,300 670.9~ 786.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△37	636 -	501 ~1,028 327.6~ 777.3%	1,200 ~1,400 923.7~ 1094.3%



■業績の進捗状況および通期見通し

【売上】

- 新規ライセンス・カスタマイズ^(※)プロジェクトの遅延は回復傾向にあるものの、コロナ禍の影響が一部残っております。
- ライセンス売上については、コロナウイルス影響下の様々なニーズを取り込むことができたOptimal Biz法人ライセンス売上を中心に、前年同期比を上回るペースで成長しております。
(サブスクリプションライセンス売上比率、全体売上の約8割)。

【利益】

- 利益率の高いライセンス売上が前年同期比を上回るペースで成長していることにより、利益は拡大しております。
- 今期からプロダクトの収益性が増加したことによりOPTiM Cloud IoT OSを中心としたソフトウェア資産計上を開始しており、利益の増加に寄与しております。

上記により、業績予想の修正を行いました。なお、新型コロナウイルス第三波と一部地域に出された緊急事態宣言が当社業績、特にライセンス・カスタマイズに与える影響が未知数であることを鑑み、修正後の業績予測についてもレンジによる開示とさせていただきます。

※ ライセンス・カスタマイズ…当社研究開発部分をライセンスとし、それをもとにしたカスタマイズ開発のこと。将来のライセンス発行につながる開発。



2021年3月期 第3四半期活動実績

IDC Japanの調査レポートにおいて、
2019年国内EMMソフトウェア市場
売上シェアNo.1※1を獲得



デロイト トーマツ ミック経済研究所発刊の
調査レポートにおいて、2019年度MDM・EMM市場
No.1※2を獲得し、さらにシェアを拡大



富士キメラ総研発刊の調査資料において、
5年連続※3国内MDM・EMM市場で
シェアNo.1※4を達成



※1 2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」。
※2 2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)、「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)」。
※3 2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)。
※4 2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)。
いづれも数量、金額の実績。

※1 出典：IDC Japan発刊、「国内システム/サービス管理ソフトウェア市場シェア、2019年：SaaS市場の成長の本格化」 #JPJ45702920より
※2 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所 2020年10月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2020年度版」より
※3 出典：2016年11月発刊、「2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、2017年9月発刊、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、2018年10月発刊、「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、2019年10月発刊、「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)」、2020年11月発刊、「2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)」
※4 出典：富士キメラ総研 2020年11月発刊、「2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)」より

テレワーク環境下でのマネジメントを支援

Optimal Biz Telework

New Normal Work Style

コミュニケーションサポート 業務サポート 生産性向上サポート

Optimal Biz Teleworkが、デジタルな情報伝達/管理を支援し、真にクリエイティブなマネジメント環境を実現します。

Optimal Biz Teleworkは単体でもご導入いただけます。
Optimal Bizと併せて導入いただくことでさらに様々な機能が利用可能となります。



■ 提供機能

- 従業員業務時間可視化
- 従業員の身体的/精神的健康状態の対話型ヒアリング・記録
- 従業員休憩、体調不良アラート
- AIによる業務内容の自動分類、業務所要時間の割合一覧表示
- CSV形式でのデータエクスポート

～テレワーク環境下の従業員とのコミュニケーションサポートや業務サポート、生産性向上サポートを実現～

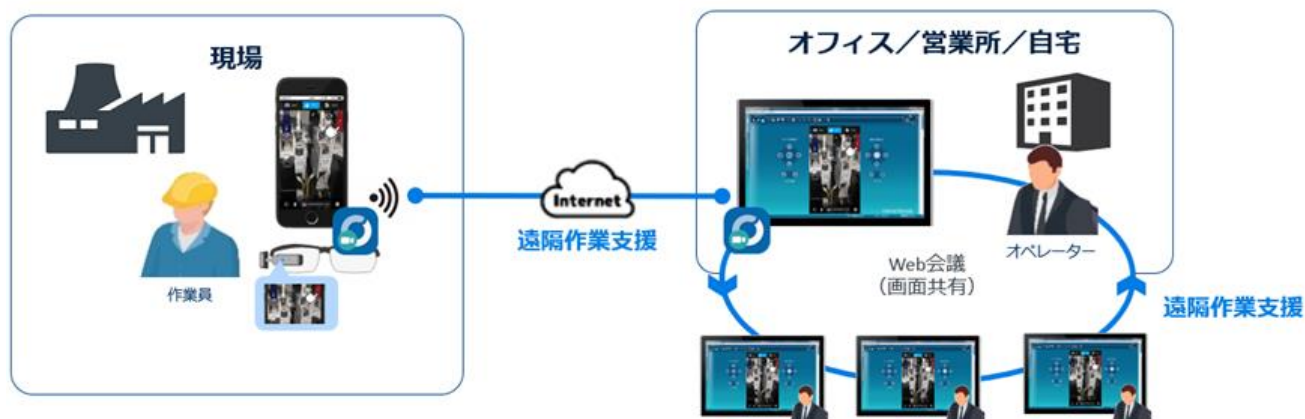
新規販売パートナーから販売開始

- 富士ゼロックス株式会社
- 兼松コミュニケーションズ株式会社

緊急事態宣言下における在宅勤務普及を支援するため無償提供

遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」、 Zoom、Microsoft Teamsとの連携機能提供を発表

～Web会議システムを使った、複数人での同時確認・指示出しが可能に～



「Optimal Second Sight」 海外利用における本格展開を開始

～SBクラウドと営業活動連携について基本合意書を締結～

SBクラウドが展開するAlibaba Cloudの国際専用線サービス「Cloud Enterprise Network」を組み合わせることで営業活動を行い、海外における「Optimal Second Sight」の本格的な展開を開始

「OPTiM AI Camera」の新ラインアップを発表

～「withコロナソリューション」で店舗・施設の運営を強かにサポート～

- 「OPTiM AI Camera」ラインアップのAI画像解析サービス名称を変更

低価格で簡単に利用可能な「OPTiM AI Camera Lite」を「OPTiM AI Camera」としてオプティムのAI画像解析のメインサービスに

OPTiM AI Camera Lite
月額2,980円（税抜）～

OPTiM AI Camera
月額2,980円（税抜）～

OPTiM AI Camera
月額15,000円（税抜）～

OPTiM AI Camera Enterprise
月額15,000円（税抜）～

OPTiM AI Camera Mobile
月額1,950円（税込）

※「OPTiM AI Camera Mobile」は名称変更いたしません


- 「OPTiM AI Camera」ラインアップにAI統合運用環境サービスを追加



AI混雑状況可視化などができる「OPTiM AI Camera」、 新規AIモードや混雑予測などの機能を新たに追加し、 大幅アップデート

～より多くのシーンへの対応と混雑予測により、
コロナ禍での店舗・施設運営を強かにサポート～

新規AIモード（標準モード）追加



標準モード

- 人物を距離に応じてサイズが変わるアイコンに置き換えて匿名化します。
- プライバシーに配慮して遠近感と人数を伝えることができます。
- 施設外・店舗前に適しています。

※検知可能距離目安：3～15m(カメラ水
平面角92°垂直面角50°の場合)

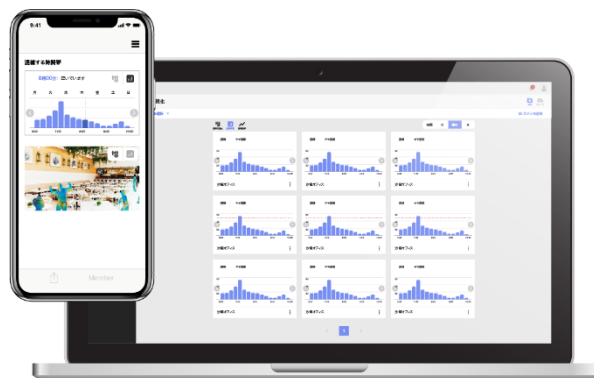


詳細モード

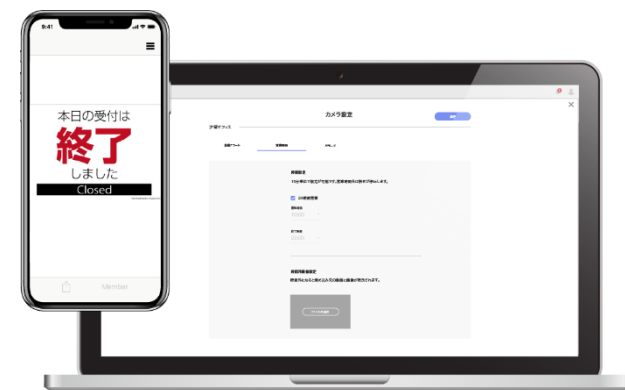
- 人物をシルエットで匿名化します。
- プライバシーに配慮して人数の動きを表現し臨場感を伝えることができます。
- 施設内・店舗内に適しています。

※検知可能距離目安：3～8m(カメラ水
平面角110°垂直面角61°の場合)

混雑予測機能



運用管理機能（営業時間外 設定、カメラ無通信検知）



「OPTiM AI Camera」のWithコロナソリューションを利用開始

～KDDI株式会社と株式会社京都パープルサンガが提供する「京都サンガF.C.」アプリでリアルタイムに混雑状況をお知らせし、より安心・安全なサッカー観戦体験の実現に寄与～



<周辺マップ選択画面 イメージ>



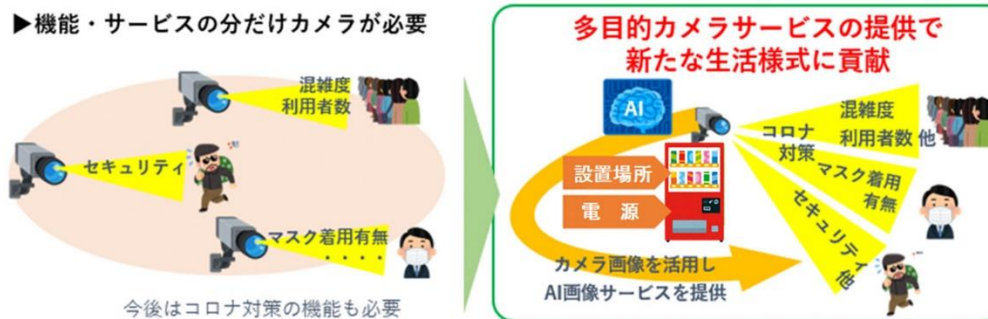
<混雑状況確認画面 イメージ>



ライブ画像の人物を匿名化
アプリやWebサイト、サイネージに表示可能



福岡市内において「多目的A Iカメラサービス」の実証実験を開始



「みやざきスポーツ&健康フェスタ2020」に 新型コロナウイルス感染抑止サービスとして「OPTiM AI Camera」を提供

体験ブースの混雑状況を可視化
～AI技術で人物を匿名化表示～

MIYAZAKI
SPORTS&HEALTH FESTA
2020

ウエストコート「ポッチャコーナー」	ヒナタテラス「3×3体験コーナー」	イーストコート「eスポーツコーナー」
 やや混んでいます slightly crowded	 空いています empty	 混んでいます crowded

ぐるなびの「飲食店LIVEカメラ」に、 新型コロナウイルスの感染抑止サービスとして 「OPTiM AI Camera」のWithコロナソリューションを提供

～飲食店のリアルタイムの混雑状況をお知らせし、
より安心・安全な店舗利用の実現を目指す実証実験を期間限定で実施～



AI・IoTプラットフォームサービス 「OPTiM Cloud IoT OS」バージョンアップを実施

～SAML2.0認証、時系列DB、デバイスライフサイクル管理APIなどの機能を追加～

◆デバイスライフサイクル管理APIの追加：アプリ活用イメージ

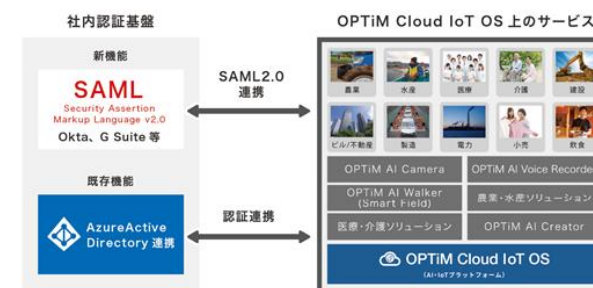
名称	コンポーネントID	シリアルナンバー	使用回数/総使用回数 (使用率)	使用期限
1 マインドストーム アームロボットタイプ	236FFED1-6C82-4F17-841A-1F7D89F0E05A			
2 モータ1 ベース	6D5AD998-A45A-4F77-A68B-0C98A3019FDC	X00003	36/100 (36%)	
3 モータ2 アーム上下	8510367F-263C-480E-9948-E99C8A6FF6E8	X00004	44/100 (44%)	
4 モータ3 グローブ	F00B2303-85D0-454E-45E3-DBFA1E23E786	X00002	86/100 (86%)	
5 スイッチセンサ ベース位置	184043C3-245D-4534-8F96-65D0C38CC65F	X00003	23/100 (23%)	
6 履帯センサアーム	F54CA38D-9265-4D9E-8085-E6AEBDCA3874	X00002	56/100 (56%)	

Component Detail

- コンポーネントID
- 構成種別
- Parent ID
- 部品ID
- チャンネルID
- シリアルID
- 最大使用可能回数
- 使用回数経過

3D Model

◆認証利便性・セキュリティ強化



◆IoTデータ管理機能の強化：アプリ活用イメージ



AIやドローンを使い、 農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米「スマート米2021」、 2020年度産新米の販売を開始

スマート米2021

(2020年度産新米)

とっても体にやさしい
お米できました。

特別栽培米

残留農薬不検出

節減対象農薬50%以下

 SMART AGRI FOOD
株式会社 スマートアグリフード



新たに兵庫県産「コシヒカリ」、石川県産「コシヒカリ」、
福島県産「コシヒカリ」・「天のつぶ」をラインアップに追加、
「ピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー」により、残留農薬検査不検出を実現

ドローン分野における新会社 「株式会社NTT e-Drone Technology」 設立及び事業開始

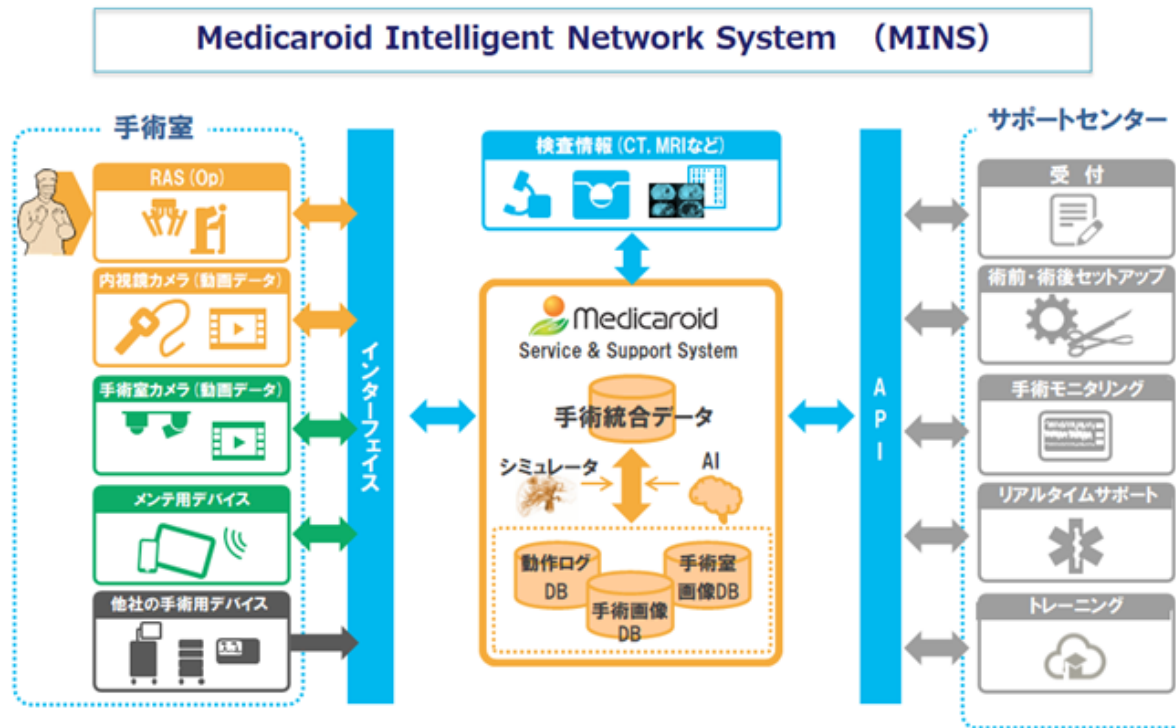
～持続可能な社会の実現にむけてドローンの社会実装を推進～

背景と目的：現在、ドローンビジネス市場は急速な拡大傾向にあり、各産業分野においてドローンの活用による活性化が期待されています。こうした中、NTT東日本とオプティムとワールドリンクは、合併会社を設立し各社の強みを持ち寄ることで、持続可能な地域社会づくりや地域経済及び産業の活性化に資するドローンの社会実装を推進していきます

株主	主な役割
NTT東日本	ICT技術（高速大容量のネットワーク・ローカル5G等）の活用、地域のニーズの収集等
オプティム	AIをはじめとするドローンに関わるソフトウェア開発等
ワールドリンク	ドローン販売・保守体制等

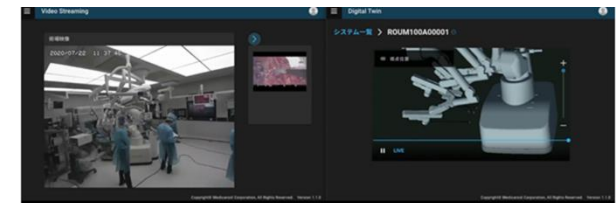
手術支援ロボットシステム「hinotori™ サージカルロボットシステム」用 ネットワークサポートシステム「MINS (Medicaroid Intelligent Network System)」 を共同開発

～手術支援ロボットから得られるあらゆるデータを AI が解析可能に～



MINSでは第一弾のサービスとして以下のリモートサポートを提供します。

1. ログデータの収集・蓄積
2. 映像配信・閲覧
3. ロボットの動きを再現



スマートコンストラクション・レトロフィットキットや AI・IoTを活用した建設向けDXソリューションのマーケティングを行う 「株式会社ランドログマーケティング」を設立

～測量時間の短縮や人件費の削減、技術者不足問題を解決～



■ 「スマートコンストラクション・レトロフィットキット」

■ 「スマートコンストラクション・ローバー」

事業内容

- ・ 建設生産プロセスの生産性を向上させる最新のデジタルデバイス・ソリューションの提供
- ・ 建設DXに関する総合商社機能の提供
- ・ 建設DXに関するコンサルティングサービスの提供
- ・ その他、建設業界の発展・貢献に必要なAI・IoTサービスの提供

「OPTiM Innovation2020」を開催

～今、感染拡大を防ぎながら、経済活動を活発化させるためAI・IoTができること～
2020年10月26日（月）～27日（火）、オンラインにて開催



「OPTiM INNOVATION 2020」は、すぐにビジネス活用できるAI・IoTソリューションや、AI・IoTの最新活用事例などを紹介する2日間のオンラインイベントです。今般の新型コロナウイルスの影響により冷え込んでいるさまざまな分野の経済活動を活性化させるべく、本年は「今、感染拡大を防ぎながら、経済活動を活発化させるためにAI・IoTができること」をテーマとしてお届けします。

「土地用途判定システム」が 「令和2年度九州地方発明表彰」の発明奨励賞受賞

特許番号：6495561（日本）

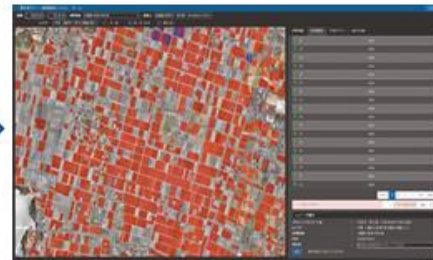
◆特長と実績



広範囲の農地を空撮



空撮画像をオルソ化



AIが作付け状況を自動解析

この工程で採用

従来の作付確認時間

約 **118** のべ時間



Digital Earth Scanning

約 **5** のべ時間

「平成30年度 経営所得安定対策等推進業務効率化モデル事業」にて当社がまとめたレポートより抜粋



〇〇xITの具体的な取組み（第3四半期以降）

〇〇(業界)	発表時期	内容	提携先
農業	2020/10	AIやドローンを使い、農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米「スマート米2021」、2020年度産新米の販売を開始	
	2021/1	ドローン分野における新会社設立及び事業開始	NTT東日本、ワールドリンク
医療	2020/10	手術支援ロボットシステム「hinotori™サージカルロボットシステム」用ネットワークサポートシステム「MINS」を共同開発	メディカロイド、シスメックス
建設	2020/10	スマートコンストラクション・レトロフィットキットやAI・IoTを活用した建設向けDXソリューションのマーケティングを行う「株式会社ランドログマーケティング」を設立	



2021年3月期 通期業績見通し

〇〇×IT戦略に対する投資計画

おおむね順調に進捗
更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

研究開発投資推移イメージ





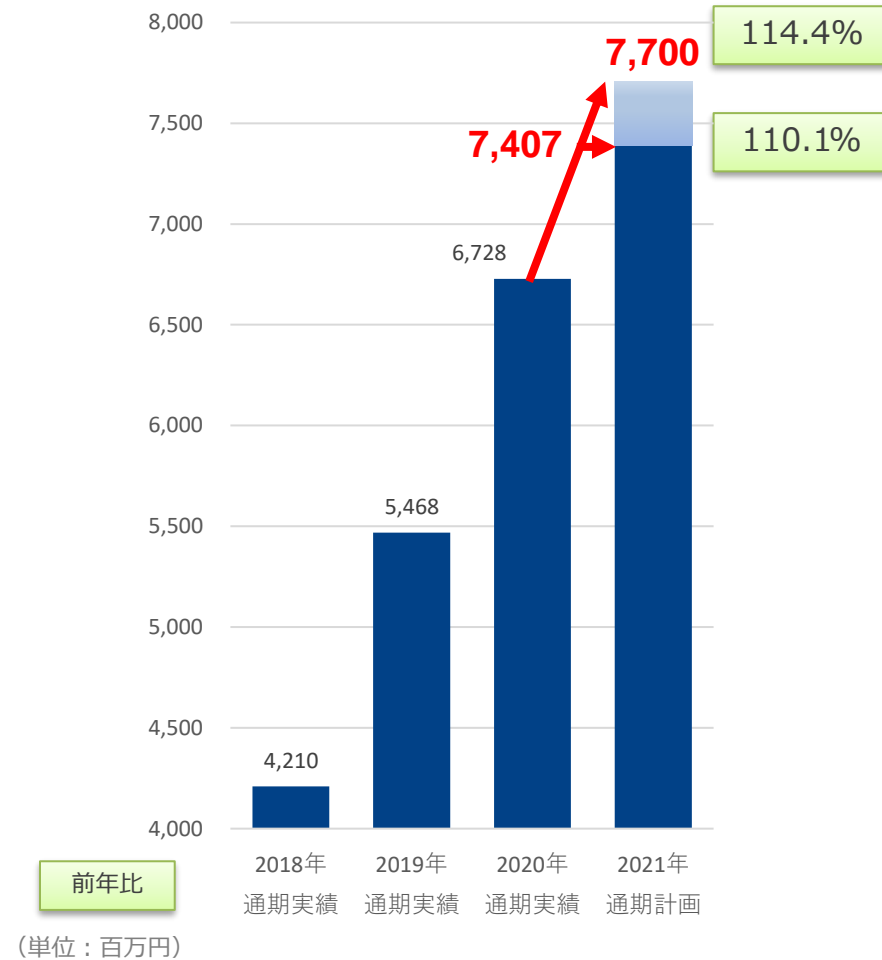
2021年3月期の業績は、
創業来**21期連続**となる
過去**最高売上高**を目指します。

2021年3月期
77.00億円売上～74.07億円
(前年比114.4%～110.1%)
の範囲で計画

- 新規ライセンス・カスタマイズ^(※)プロジェクトの遅延は回復傾向にあるものの、コロナ禍の影響が一部残っております。
- ライセンス売上については、コロナウイルス影響下の様々なニーズを取り込むことができたOptimal Biz法人ライセンス売上を中心に、前年同期比を上回るペースで成長しております。
(サブスクリプションライセンス売上比率、全体売上の約8割)。

※ライセンス・カスタマイズ…当社研究開発部分をライセンスとし、それをもとにしたカスタマイズ開発のこと。将来のライセンス発行につながる開発。

売上予想



2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績

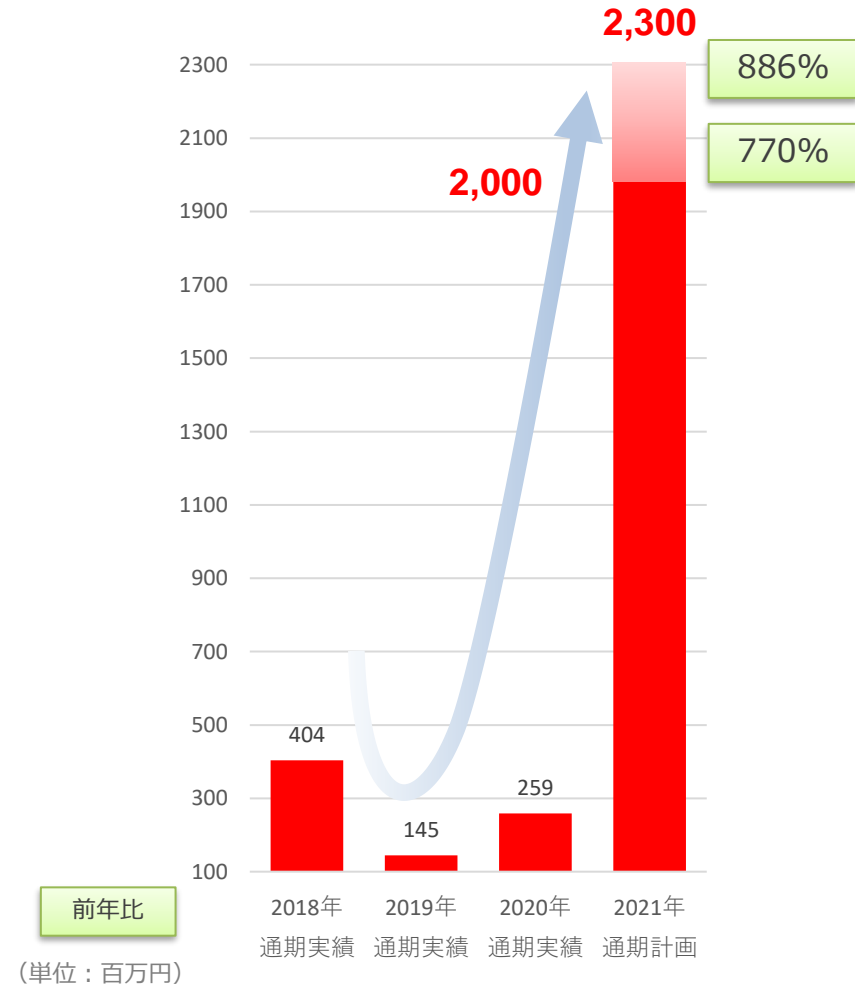


2021年3月期の業績は
過去**最高利益**を目指します

2021年3月期
経常利益23億円～20億円
(経常利益率29.9%～27.0%)
(前年比886%～770%)
の範囲で計画

ライセンス売上が好調に推移しており利益率が上昇していること、OPTiM Cloud IoT OSを中心としたソフトウェア資産計上を開始していること等の理由により利益について上方修正をしております。

経常利益予想



2018年・2019年は単体決算実績、2020年・2021年は連結決算実績



第4次産業革命の中心的企业になる

OPTiM

www.optim.co.jp

OPTiM